

一般質問

伊達市における観光の展望について

佐々木喜孝議員



伊達市の阿武隈山系には、観光スポットと

して、名所旧跡が数多く点在しています。市内の名所旧跡を遊歩道などで結んで、いわゆるグリーンツーリズムを立ち上げることも可能と思われます。今、全国的にウォーキングがブームになっており、

質問議員と主な項目

3月8日登壇

佐々木 喜 孝 議員

・伊達市に於ける観光の展望について

幕田 徳左工門 議員

・市長選に望むにあたり掲げられた4つの柱、45の政策の実現化について
・市民の健康づくりについて
・小学校のあり方について
・全幼稚園の2年制について
・放課後児童クラブについて

菊 地 邦 夫 議員

・本庁舎の今後について
・伊達市の子育て支援について

佐 藤 勲 議員

・新市建設計画について

井 上 諒 議員

・地域の自治を推進するまちづくりについて
・固定資産税と評価額について
・都市計画税導入について

熊 田 昭 次 議員

・合併特例債について
・伊達市における農業支援対策について

一 条 恒 男 議員

・新市長ビジョンローカルマニフェスト実現について

安 藤 喜 昭 議員

・5町合併の類型について
・県北地域における伊達市の位置づけについて
・市政懇談会の地区開催について
・職員の人員削減について

志 賀 忠 三 郎 議員

・梁川町大関地内の道路及び橋梁整備について
・中の内橋架替について
・梁川町白根市道山沢線七郎内地内改修工事について

佐 藤 光 俊 議員

・少子化対策についての具体的施策について
・税金支払をクレジットカードでも可能にすることについて

3月9日登壇

佐 藤 実 議員

・市のスポーツ振興策について
・木造住宅の耐震化について

大 條 一 郎 議員

・安心して子育てができて元気な子どもが増えるまちづくりについて

富 田 弘 司 議員

・子育て支援について

秋 山 實 議員

・分散型合併について
・少子高齢化対策について

千 葉 利 市 議員

・防災に対する取組みについて
・農業の振興について

中 村 正 明 議員

・乳幼児健康診査について

半 澤 隆 議員

・伊達市出産育児一時金制度について
・職員の資質の向上について

菅 野 富 夫 議員

・学童保育について
・道路改良の促進について
・高額医療や障がい者医療対策について

森 利 夫 議員

・新市長として本格的な予算の再編成について
・中山間地直接支払いについて
・公共交通体系の整備について

3月10日登壇

安 田 豊 一 議員

・保原町歴史文化資料館の今後の運営方針について
・耕作放棄地の解消について

二 瓶 勇 雄 議員

・少子化対策について
・地域審議会について
・平和を希求する市政の運営について

菅 野 顯 光 議員

・教育行政について
・社会教育について
・教育基本法について

吉 田 恵 稔 議員

・総合支所長の権限と地域審議会の役割について
・農業振興について
・青少年育成について
・街中商店街の活性化と地域の交流について
・行政改革の推進について

高 橋 一 由 議員

・新市建設計画とマニフェストについて
・各町特色ある事業について

大 橋 イツ子 議員

・高齢者対策について

金 子 恵 美 議員

・障がい者福祉施策について
・農業の振興について

佐々木 英 章 議員

・自治条例の制定について
・介護保険について
・介護予防事業について
・水道問題について
・特例債問題について

佐 藤 俊 博 議員

・農業の振興について
・商業の振興について
・障がい者支援について

阿武隈山系の観光地を徒歩で回することは、市民の健康にもつながり、一石二鳥の効果が期待できます。

観光地に様変わりするこの

ふるさとに、住んでいてよかった、これからずっと住みた



色、ただでなく、歴史で

いと思える伊達市にするため、どのような観光事業に取組むのか伺います。



観光というものは景

めとする歴史があります。観光の魅力の向上を図るため、地域のすぐれた自然環境や史跡などの地域資源を活用し、グリーンツーリズムなども取り込み観光振興関係団体と連携を図り、市民と行政との共

同参加による観光資源のネットワーク形成に努めます。今後、パンフレットやインターネットを活用し、観光情報を積極的かつ効率的に発信するよう考えております。

市長選に臨むにあたり 掲げられた4つの柱、 45の政策の実現化について

幕田徳左工門議員

Q 当面の市政運営4つの柱と、ビジョンに近づくための45の政策をローカルマニフェストとして具体的に掲げられたが、これらの具現化に向けた所信をお伺いします。

A 任期中の達成に、もちろん努力していくわけですが、その達成にはあまりこだわらず、将来に向けて

本庁舎の今後について

菊地 邦夫議員

Q 本庁機能が保原と梁川にあるため一か所で

用事が済まず、なかなか大変であり時間的にも無駄がある。旧保原町役場庁舎が市庁舎としてはスペースが足りなく、財政的にも改めて本庁舎をつくることは不可能ということから、苦肉の策として梁川分庁舎を設置したと思いますが、今後、本庁舎を一つにまとめる考えはないかお伺いします。

A 本庁機能を一か所にすることに、総合支所との連携を緊密にして、

効率性、集中性、利便性が図られ、伊達市としての組織の一本化が醸成され、住民サービスのより一層の向上も図られるというふうと考えておりますので、今後本庁を一本化する方向で検討して参ります。

新市建設計画について

佐藤 勲議員

Q 新市建設計画に関し、次の4点についてお伺いします。①事業実施期間は、

17年度より27年度の11年間としているが実質10年間ではないか。②合併特例債について、旧町ごとの配分額を示してほしい。③新市建設計画のハード事業の実施計画はどうするのか。④農業振興、商工業の振興、その他公共的な団体に對する育成助長にはどう取り組むのか。

A ①平成17年度は、事業実施対象年度にならず、実質10か年であります。②旧伊達町19億4千万円、旧梁川町36億9千万円、旧保原町37億7千万円、旧霊山町19億8千万円、旧月館町12億5千万円であり、年度ごとの額は、およそ10分の1であります。③各旧町と各年度のバランスに配慮し実施計画を策定します。④旧町の施策を引継ぎ、合併効果ができるように支援して参ります。

地域の自治を推進する まちづくりについて

井上 諒議員

Q 新市建設計画の中で、計画を変更しようとするときは地域審議会の意見を聞かなければならないとありますが、真に地域のための事業を推進する観点から、従来の地区公民館単位で人材を登用し、事業推進順位を地域で作成し、総合支所から各部署、

市長へと住民の意思が伝わるのではないのでしょうか。また、

地区公民館単位の自治振興協議会（仮称）をつくることで、公平・公正な市政構築に寄与できるものと考えますが、所見を伺います。

A 旧町ごとの住民の意向については、今後設置されます地域審議会に集約して、進めていくことが妥当ではないかと思えます。また、地区公民館単位で人材を登用

するということについても、各総合支所における地域審議会委員の委嘱に当たって、総合支所管内の地区に偏りのないように、公民館単位とか、旧村単位ごとに人選すれば、結果として地区公民館単位の住民の意思、旧村単位の住民の意思というものが市政に反映されるものと考えます。

合併特例債について

熊田 昭次議員

Q 5町合併がなされて2か月が過ぎ、大変忙しい時間での本年度予算が編成されたものと思えますが、

今年度において特例債が事業内容に、また今後の予算執行に当たり、事業にどのような盛り込んでいくのかを伺います。また、今後の規模、見通し等についてもあわせて伺います。

A 特例債事業内容として、平成18年度当初予

算においては、地域創造基金積立金に計上しました。今後については、現在、各旧町の振興計画等を参考にし、新市建設計画の実施計画を策定中であります。実施計画の策定に当たっては、各旧町間のバランスと各年度間の財政計画

に配慮するとともに、新市の一体性の確保、まちづくりの方向性から見た事業の必要性、緊急性等の検証等、総合的な観点から調整が必要と考えます。調整の整った建設事業については、予算を補正し、事業の推進を図ります。

新市長ビジョン ローカルマニフェスト 実現について

一条 恒男議員

Q ローカルマニフェストについては、細かく、わかりやすく、市民に自分の政策を提示したということについては、画期的なものだと考えます。「安心して子育てができ、元氣な子供がふえる、まちづくり。安心して歳がとれる、生きがいを感じられるまちづくり。5町それぞれに個性と地域力のあるまちづくり。市民と協働で、高品質高効率な行政サービスのまちづくり。」これらについて、市長の所信をお伺いします。

行政だけでできることではなく、市民の皆さんとともに実現に向け努力

していかなければならないと考えております。伊達市というのは行政だけで成り立っているわけではなく、市民全体で伊達市を構成しているわけです。一つの家族のようにしてこの伊達市を支えていき、そして、住みよい伊達市をつくっていくために、市民と情報共有化し、問題意識を共通にして、協働で、まちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

5町合併の類型について

安藤 喜昭議員

Q 今回の5町合併による伊達市の類型は、市になることによって地域づくりの新たな展開が期待できるとともに、福祉事務所の設置による総合的な福祉行政が可能となる市政施行型。また、特別職をはじめ、議員定数の削減、管理部門のコスト縮減や効率的な施設の配置、利用ができることもに行財政の効率化が図られ、職員の事務分担の見直し、より専門的な業務を担当することによって市民一人一人により質の高い行政サービスの望むことができる行政基盤強化型。この2つの内容をあわせ持ったものと思うが、市長の所見をお伺いします。

今回の合併によって、総合支所機能を生かし合併の効果も発揮され、伊達市型と呼ばれるような成果が得られるようにしていきます。

今回の合併によって、総合支所機能を生かし合併の効果も発揮され、伊達市型と呼ばれるような成果が得られるようにしていきます。

梁川町大関地内の道路及び橋梁整備について

志賀忠三郎議員

Q 梁川町大関地内の主要地方道浪江国見線は、幅員が狭く通学路ともなっており、大変危険な状況です。

また、この道路に接している中ノ内橋も老朽化し早期整備が必要であります。平成15年梁川町議会12月定例会におい

て、バイパス案を視野に入れながら、福島県に対して強く要望してまいりたいと考えているとの答弁がありました。伊達市としての考えも変わりはなにか、また新たな考えがあるのかお伺いします。

A 梁川町議会において、実現可能なバイパス案を提示しながら、福島県に対して強力で要望して参ると返答しております。新市においても、この考え方にいささかの変更はありません。また、中の内橋については、集落の南側にこのバイパスに接続することにより、橋梁と県道との規定の取りつけ勾配を確保し、橋梁工事を推進します。

さらに、ローカルマニフェストの中で、本庁と支所間を結ぶ道路整備を国・県に対し強く働きかけ、整備推進することを明確にいたしております。

伊達市議会のホームページを開設しています。アクセスしてみてください。

アドレス
<http://www.city.date.fukushima.jp/>